

## キリンビール 2017年7月販売概況レポート

### ■7月の販売概況

カテゴリー	7月
ビール類計	95%
ビール計	94%
発泡酒計	96%
新ジャンル計	95%
RTD計	112%

#### 【ビール類】

- ・ ビール類は、昨年の施策の反動が見られたこと、店頭価格の上昇による影響、下旬の天候不順などにより、マウス着地となった。
- ・ 市場全体も上旬、下旬の不振により月間でマウスとなった模様で、猛暑効果は限定的となった。

#### 【RTD】

- ・ RTD計は、「氷結」や「本搾り」がけん引し、2桁プラスとなった。
- ・ 市場全体も同様に2桁プラスとなった模様で、引き続きビール類からのユーザーの流入が見られる。

#### 【ノンアルコールビールテイスト飲料】

- ・ 4月に発売した「零 ICHI」は、7月11日に年間販売目標を当初予定の5割増となる210万ケースに上方修正した。7月末時点で修正目標の約5割となる106万ケースを販売。
- ・ 市場全体は2桁増になったと見られ、4月以降4ヵ月連続プラスとなった。

#### 【ウイスキー】

- ・ ウイスキー計は、主力ブランドがけん引し+9%と引き続き好調に推移した。
- ・ 国産ウイスキーの「富士山麓」は+13%となり、3ヵ月連続で前年超えを達成した。
- ・ 伸長著しいスコッチウイスキーの「柯イトホース」は、6月27日に発売した「樽詰めハイボール」も上乘せされて+45%となり、好調に推移している。引き続き、家庭用・業務用両チャネルにおいて拡売を図っていく。